

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道新ひだか町 新ひだか町立静内病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
21,040	5,932	第2種該当	-	10 : 1

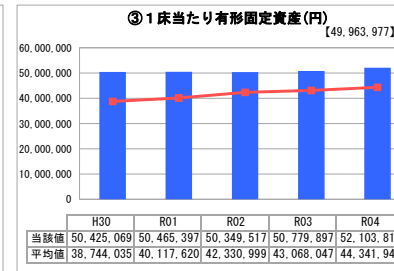
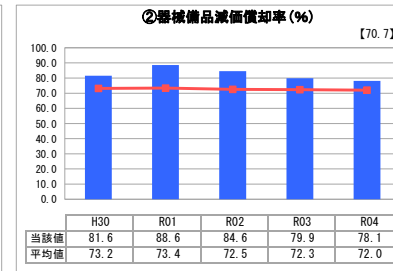
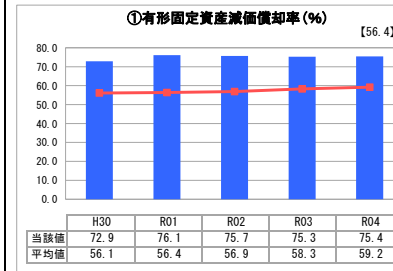
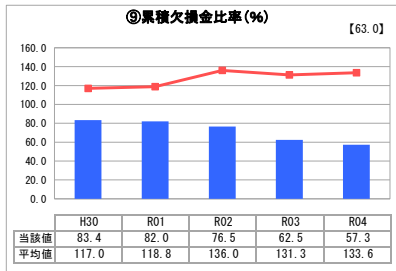
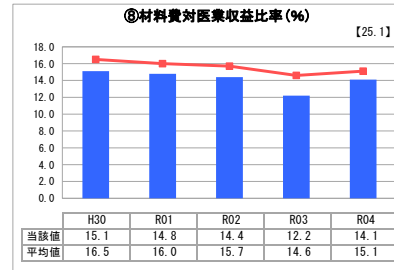
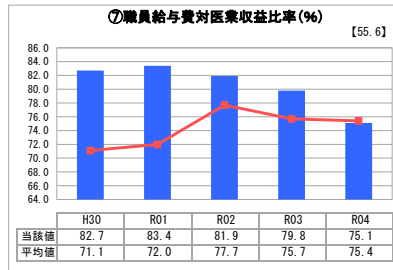
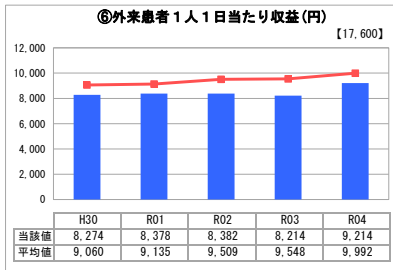
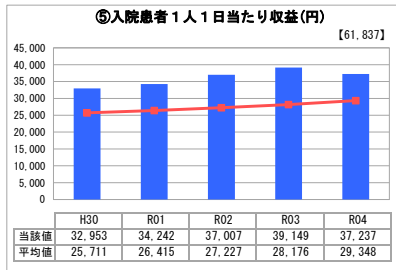
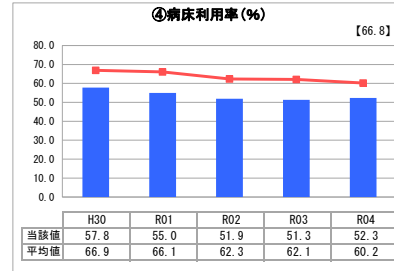
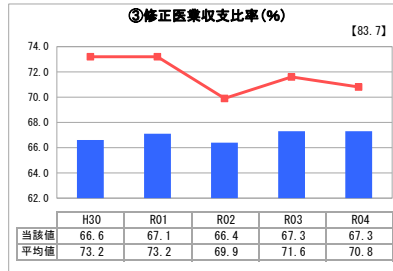
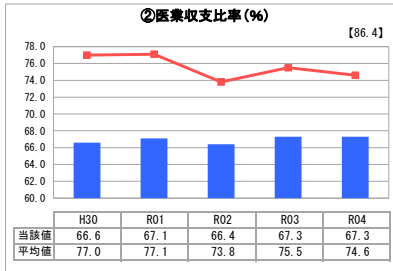
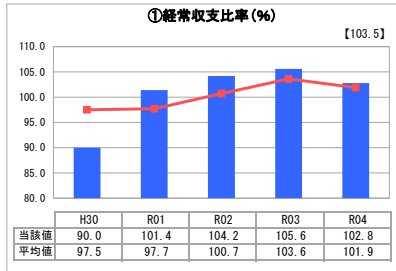
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
58	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	58
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
58	-	58

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
循環器診療を主体とした医療提供体制としており、新ひだか町内はもとより高圏域における循環器治療の中心的な役割を担っている。また、救急医療や在宅復帰へ向けたりハビリテーション機能も有している。	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

## I 地域において担っている役割

循環器診療を主体とした医療提供体制としており、新ひだか町内はもとより高圏域における循環器治療の中心的な役割を担っている。また、救急医療や在宅復帰へ向けたりハビリテーション機能も有している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

外来患者1人1日当たりの収益は増加したが、その他の項目については、ほぼ横ばいな状況であり、病院運営のために町からの赤字補てんにより経営をしている状況にある。このため、経営コンサルタントを活用し、経営の効率性を高める取り組みを行いました。今後、同じ町立三石国保病院との病院機能の再編によりさらなる経営の効率化を目指しています。

### 2. 老朽化の状況について

改築当初（平成8年）に整備し早急に更新が必要な機器があるものの、財政状況や医療提供体制等を鑑み、必要最低限の機器等を年次計画のもと更新している。

### 全体総括

令和4年度については、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策（院内感染の防止等）を主体とした医療提供体制とせざるを得ない中で、感染防止を図りながら、一般診療をどの様に安全安心に提供するための体制整備等に苦慮した状況であった。また、経営コンサルタントを活用したことにより、職員の意識改革が図られ、今後は病院強化プランに基づき病院機能の再編を目指し、より効率的な経営に努めます。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。